



生活クラブ北海道 機関誌

チュブとはアイヌ語で太陽、月の意味

9 月号

2025 No. 512



地域とつながる 夏まつり



生活クラブが居場所を通して地域福祉づくりに取り組む豊平区で、7/26～27に夏まつりを開催しました。初日は生活クラブ館・とよひらを会場に、ワーカーズ・コレクティブぽんこたんが主催。子ども縁日や総菜販売、生活クラブ活動と楽しく触れるコーナーなどには過去最高の来場者がありました（写真A B C）。翌日は、みんなの居場所「うたりんど」を会場に、居場所づくりプロジェクトが主催しました。地域の人もピアノ演奏や手作り品販売・作品展示などで参加し（写真D E F G）、開始早々で近所から続々と歩いて来る方たちが集まり賑わった2日間。少しずつ豊平での地域福祉づくりが進んでいることを実感できた夏まつりとなりました。

〈福祉担当理事 山崎 栄子〉



INDEX

270 万年前の磯谷溶岩が教える
核ゴミ処分の危険性 3

2025 ヒロシマ平和行動 報告 6～7
戦後 80 年 平和の大切さを学ぶために

委員会活動紹介
サステイナブル委員会 4～5

生活クラブ Wind



組織活動

わたしたちの共同購入を安定的に維持、持続させるためには、大勢の食べる仲間が必要です。しかし現在、組合員数は8月期首で1万2154名、前年度同月からマイナス100名と、加入が伸び悩んでいます。

生活クラブを知らせたい人に、おすすめ消費材3点をプレゼントできる「紹介キャンペーン」が始まっています。10月1日には京王プラザホテル札幌で「拡大試食会」、11月2日にはグランドメルキュール札幌大通公園で「わくわくまつり」も開催します。友だちや知り合いに、生活クラブの味を試してもらう機会をぜひ活用ください。



消費委員会

11月号のカタログと一緒に、米登録用紙が届きます。2カ月でひと袋(5kg)から、それぞれの世帯の食べる量に合わせて登録できます。市場の米不足などで欠品が発生しそうな場合は、米登録者へ優先的に供給します。主食である米は、普通に買える、きちんと届くことが重要。25年6月の米登録者は、初めて27%を超えました。

生活クラブのお米は、産地と生産者、栽培履歴がわかるお米です。生産者であるお米の会に安心して作り続けてもらうためにも、「この量を私たちは食べます」と約束する米登録をしましょう。



石けん運動委員会

掃除をしたあと、使った洗剤が残っているのではと心配したことはありませんか？ やはり、安心安全なもので掃除するのが一番です。汚れがアルカリ性ならクエン酸、酸性なら石けん落とせますし、どちらかわからないときは重曹で。重曹にはクレンザー効果があるので、落とすだけでなく、素材にあったものを選ぶことも大事です。

安全で上手なお掃除のコツを学べる「石けんカフェ」を開催します。年末に向けてのしっかり掃除や、ふだんの掃除のヒントをお伝えしますので、ぜひ参加してください。(8ページ参照)



福祉・たすけあい

エココは組合員同士のたすけあいを目的とした制度です。「しくみ」に参加することで参加する人を増やし、たすけあうことを応援し、やがては誰もが暮らしやすい地域につなげようと組合員が取り組みました。



ケアを必要とする人と手助けする人をつなぐ「コーディネート制度」が、9月1日からすべての保障に使えるようになりました。あなたもエココに加入して、たすけあいの輪を広げていきませんか。毎月100円の掛金はどこかで誰かを助けています。詳しくは、ホームページの「エココガイド」を見てくださいね。

8月の理事会から

新たに始まる「主要品目予約制度」は、26年4月に牛乳の共同購入から始まります。班ロットを終了すること、新制度の概要とそれに向けた活動を確認しました。

これまでチエルノブイリ・福島医療基金に託してきたチエルノブイリ支援カンパは、直接的な支援が困難なため一時停止し、北海道独自の「福島・栃木の子どもたちの保養」カンパに取り組むことを承認しました。

9月2日の韓国ハンサリム生協との交流会について、確認しました。

釧路センター移転に伴う設備環境に対応するため、9月からの配送のしくみが週2回から1回になると報告がありました。

宅配便配送組合員への配達料金について、共同購入事業継続のための送料改定と宅配業者変更の報告があり、承認しました。

270万年前の磯谷溶岩が教える 核ゴミ処分の危険性

生活クラブは「食料生産地北海道と核のゴミは共存できない」として、1985年の幌延問題から、核のゴミ持ち込みに反対する運動を始めました。寿都町と神恵内村を核ゴミの最終処分地選定に向けた概要調査に進ませない、泊原発を再稼働させないための運動をおこなっています。

核ゴミの最終処分法では、約258万年前以降に活動した第四紀火山の中心から半径15キロ以内は最終処分場の不適地として除外することになっています。岡村先生は、寿都町東部にある磯谷溶岩が第四紀火山にあたるとした論文を執筆し、7月17日に日本地質学会より公表されました。寿都町のほぼすべてが不適地だということです。論文に対してNUMO（原子力発電環境整備機構）は、この新知見を全面否定し、是が非でも次の概要調査へ進めるという主張をしました。これらは科学的でも民主的でもありません。

寿都町フィールドワークを開催

8月24日、私たちは岡村先生と、270±60万年前に活動した磯谷溶岩を見ることができた牧場跡地に行きました。地質見学では、流れた溶岩の表面を覆う発泡した玄武岩質の岩片や、大きな安山岩など、山頂部から流れ下った溶岩流地形がわかりました。



フィールドワークには組合員30人が参加。
左にあるのは大きな安山岩



岡村聡 名誉教授
(北海道教育大学)

事前に、岡村先生による
論文の解説学習会を開催
(8/3 札幌エルプラザ)



現地、町民の会の皆さんとの交流会

フィールドワーク後の「子どもたちに核のゴミのない寿都を！町民の会」の方々との交流会では、10月に行われる町長選挙や、核ゴミによる地域の分断など、さまざまな話を伺いました。参加者からは札幌に住む私たちができることとして、「寿都のことを伝える」「原発再稼働に反対する」「美しい寿都にまた来よう」などの声がありました。

学習会とフィールドワークを終えて、論文を否定したNUMOに反論を続けている岡村先生への応援の声と、核ゴミ持ち込みに反対する思いが強まったなどの感想が組合員からありました。地域で暮らす人々の繋がりまでも奪う原発によるエネルギーを、私たちは選択することはできません。「泊原発再稼働に反対。北海道に核ゴミはいらない」とこれからも運動していきましょう。

〈原発ゼロ・市民エネルギー委員会 担当理事 小林 恭江〉

寿都町のほぼすべてが不適地



し委員会では持続可能な社会をめざして、CO₂削減や環境負荷を抑える活動を
ます。組合員にグリーンシステムや生活クラブでんきの共同購入を呼びかけ、
ごみ問題や省エネを伝えるイベントの企画、生産者見学会、森づくりプロジェ
など、多岐にわたる活動内容を紹介します。



生活クラブでんきのイベントにて職員・講師と共に。
私たちと一緒に活動する委員会メンバー、募集中です！

使い捨てにしない循環型社会をめざして

グリーンシステム

資源の循環とごみ削減をめざして、リユースびん(Rびん)、紙パック、ピッキング
袋の回収をするシステムです。委員会では毎月、各センターの回収数を昨年同月と
比較し、数字が芳しくない場合は原因を探ります。また、回収の意義を組合員に知
らせるためニュースの発行やイベントを企画しています。

循環
率の
ため
に
は
回
収
率
ア
ッ
プ
！



500mLのびんは
道内で循環して
いるよ♪

環境へのとりくみ



グリーンシステム回収見本セットを各センターに置いて
います。支部のイベントなどで利用してください。

できるのか
り、伝えたい

回収は月1回
第1週



再生紙 100%

紙パックの売却金で
フイービラの森づくりをすすめています

古平の海を育む
森づくり



生活クラブでんきオンライン学習会



映画『おだやかな革命』の上映と、生活クラブ
エナジー職員による学習会を開催

環境出前講座



支部のイベントに出向き、プラごみの話
やミツロウラップづくりをしました

手づくりパネルで環境問題を
わかりやすく伝えました



わくわくまつり



来場者に資源の循環について説明。
私たちの活動も周知しました

鍋を布(おくるみちゃん)
で包む保温調理♪

省エネ



出前講座では保温調理など、
なるべくエネルギーを使わ
ない工夫を伝えます

中沼プラスチックセンター見学



札幌市のプラスチックごみ収集の現状を
スライドを使って、組合員に報告しました

札幌市のプラごみは年々増加。
生活を見直し、ゴミを減らそう

サステイナブル委員会

サステイナブル
おこなっている
プラスチック
クトへの協力な

再生可能な自然エネルギーにチェンジ!

生活クラブでんき



生活クラブでは気候危機の解決と原発のない社会づくりをめざして、生活クラブでんきの共同購入を 2016 年から始めました。自然や人と共生できる再エネを厚田や阿寒の生産者とともに作り上げ、推進しています。消費材と同じく中身のわかる電気です。枯渇する化石燃料ではなく、太陽光や風力といった自然エネルギーで気候危機に歯止めをかけ、次の世代へと手渡せるよう生活クラブでんきへの切り替えをすすめています。原発を稼働させる電気か、再エネを推進する電気か、私たち一人ひとりの選択が未来につながります。



当日、生活クラブでんきへの切り替えを決めた方も♪

再エネ省エネフェア



建築士による住宅講座や子ども向けワークショップ、省エネ講座などを行い、生活クラブでんきへの切り替えをアピールしました

10 月もでんきのイベント開催します (p8 参照)

阿寒バイオガス発電の見学



牛の糞尿を発酵させ、発生するガスの燃焼により発電するしくみ。停電時は地域のバックアップ電源にも利用できる、地元応援の電気です

今と未来のために何か
学び、語



生活クラブでんきの価格は?

再エネ中心で
この価格

一般家庭に多い従量電灯 B なら
北海道電力より安価!

4 人家族の平均使用量 400kwh で比較

年間で - 888 円

生活クラブなら
さらに
メリットが!

利用還元
割り戻し

剰余が出たら電力利用量に応じて
料金の一部を還元します。
2023 年度は還元率 0.14 %

基本料金	10A あたり 402.60 円 (15A の場合、603.90 円)	北電と同じ
電力量料金	最初の 120kwh まで	35.30 円
	120kwh を超え 280kwh まで	41.59 円
	280kwh を超える	44.86 円

- 0.05 円

- 0.5 円

生活クラブでんき



申し込み・問い合わせ・資料請求は
Webまたは
生活クラブ北海道本部 川口まで

※ 来年 3 月には、北電のオール電化割引プランが終了します。ぜひご検討ください。

戦後 80 年 平和の大切さを学ぶために

文化委員会が行うヒロシマ・ナガサキ平和行動は、今回で28回目を迎えました。昨年、被団協（日本原水爆被害者団体協議会）がノーベル平和賞を受賞し、戦後80年の節目である今年は、広島を訪れました。平和運動をライフワークとしている案内人お二人によるフィールドワーク、被爆者から直接お話を聞くなど、会って語ることの重さを実感する旅でした。平和のために何が必要か、知ったことをどう伝えていくか、行つて終わりでない平和行動は続きます。

現地を訪れ、平和について考える

中央支部 高島ゆき子

1日目は、案内人の山内正之さんにおおくのしま大久野島案内していただきました。いつかは訪れたいと思つていたウサギで有名な瀬戸内海の島が、大久野島だとは知りませんでした。この島で秘密裏に毒ガスが製造されていたこと、国際条約に反して旧日本軍が中国で毒ガスを使用したこと、何を製造しているのか知らずに従事していた工員が毒に冒され、多くの犠牲を出したという事実には驚きました。また、道東の屈斜路湖に毒ガス弾が投棄され、1996年に回収されていたことも知りました。穏やかでゆったりとした時間が流れるこの島で、

そのようなことがあつたとは受け入れ難かったです。しかし、当時を偲ばせる毒ガス貯蔵庫や発電所、砲台などの跡地や、毒ガス製造に起因するヒ素による水質汚染の影響で現在も島の水は飲めないと聞き、疑いのない事実だと認識しました。



大久野島毒ガス資料館(上)、案内人の山内さん(右)



2日目は、案内人の西岡由紀夫さんに案内していただきました。初めに、広島平和記念公園で原爆投下時間の8時15分にダイ・インをしました(左写真)。次に、呉市の港湾が見渡せる「歴史の見える丘」で、造船作業の様子を見ました。ドックの鉄骨が戦艦「大和」建造時のものと知り、映画『この世界の片隅に』の主人公が見ていた景色を私もちよっ

ぱり感じました。次に行つた潜水艦棧橋では、海上自衛隊の潜水艦や艦船を間近に見て、壮観であり不気味でもありました。これほど多くの艦が本来に必要なのか、でも身内に自衛隊関係者がいる…何とも言えない気持ちになりました。碑巡りのため訪れた広島平和記念公園には遺族の他に、市民活動の方やアーティスト、外国人観光客などたくさんの方が、それぞれの形で平和に対する思いを表現していました。公園近くの寺にある一般市民の墓地では、住職に許可をもらい、お墓に立ち入らせていただきました。原爆の熱線や爆風によるひび割れや黒ずみ、欠損している被爆墓石がありました。原爆投下日や直後の日付、原爆死や原爆症と刻まれたお墓もあり、多くの市民が犠牲になり、今も悲しみが続いていることを肌で感じました。



左から、中瀬職員、案内人の西岡さん、谷口さん、小松理事、高島さん



8月5日：おおくのしま大久野島フィールドワーク

6日：広島平和記念公園でダイ・イン、呉フィールドワーク、旧広島陸軍被服支廠、広島城地下広島陸軍司令部、広島平和記念公園フィールドワーク

7日：ほんかわ本川小学校広島平和資料館、広島平和記念資料館、被爆証言の集い

3日目は、波田保子さん(89歳)に、9歳で被爆した当時の状況を語っていただきました。広島県北西部の町に集団疎開していた波田さんは、7日後に自宅があった舟入本町(爆心地から1.5キロ)へ戻り、被爆しました。自宅で被爆した父親に代わり家計を支えるため、中学卒業後すぐ働いたこと、看護師になり被爆者と接し、父親も原爆ぶらぶら病だと気づけたことなど、これまでの



70歳を過ぎてからこの活動を始めた波田さん

人生を話してくれました。60歳から夜間高校や夜間大学で学んだ波田さんは、二度と核兵器による被害を繰り返してはいけないという強い思いで、活動を続けているそうです。

現地で見て、聞いて、触れて、いろいろな感情が巻き起こり、体の中を駆け抜けていきました。今まで、これほど戦争や平和について考えた時間はありません。札幌に戻ると、いつもと変わらぬ日常が始まりましたが、私の中で何かが変わったヒロシマ平和行動でした。

※原爆症の後障害のひとつで、倦怠感や病弱な状態などが続く。怠け者と言われ、辛い経験をした人も多い

被害と加害を学び 不戦を願う

厚別支部 谷口理恵子

写真やテレビでしか広島を見たことがなかったので、都会的で栄えている街並みを見てとても驚きました。80年前に焦土と化した広島。原爆を投下され多くの方の命が奪われた悲しい出来事がありながら、ここまで復興を成し遂げたことに感動しました。



慈仙寺跡地。広島平和記念公園内で唯一、当時の地面が残る墓石まわり

今回の平和行動に参加して、戦争について考えるには、被害と加害どちらの面も学ぶことが必要だとわかりました。加害については、あまり触れられていないように思います。大久野島のフィールドワークでは、毒ガス弾が海洋投棄や島内埋没、屈斜路湖へ投棄されたことを知り、大変驚きました。中国では、旧日本軍が9万人以上の民間人を殺傷したこと、遺棄された毒ガス弾による被害が今も起きていることを忘れてはいけません。実際に戦争の痕跡が残る場所へ行き、事実を知ることが大事だと思いました。戦争は、まだ終わっていないのです。

広島平和記念公園は、繁華街だった中島地区の瓦礫や回収しきれなかった遺骨の上に、盛り土をしてつくられました。そこを自分たちが歩いているのだと、フィールドワークで教えていた

きました。広島平和記念資料館には、子どもの三輪車や弁当箱、日記などの展示物があり、被爆者の人生の一部に触れ、涙があふれて見ることができなくなっていました。原爆は人の命も未来もすべてを奪ってしまふ、死ぬも生きるも地獄だと感じました。次の世代の未来を守るためにも、戦争は二度としてはいいけません。核兵器も化学兵器も、いらないのです。そのために何が出来るだろうかと自問自答しながら、自分にできることを精一杯していきたいです。



平和の集会で、私たちの平和への想いや取り組みを伝えることができました

10月13日(月・祝)10時から
札幌エルプラザで
報告集会を行います

information

発行 生活クラブ生活協同組合 札幌市厚別区大谷地東1丁目4-15 TEL 011(887)8891 FAX 011(887)7226
発行日 2025年9月20日 編集 広報委員会 / W・C・O・P・L・A・N・S・E・P・O

なるほど！なっとく生活クラブ

みんな待ってるよ〜

わくわくまつり

11月2日(日) 11:00 ~ 14:30

道内外から生産者がやってきます♪
インスタで情報公開中！チェックしてね



グランドメルキュール札幌大通公園
(旧ロイトン札幌)
札幌市中央区北1条西11丁目

Instagram



ニュース

9月1週

本ページに記載しているイベント等については、生活クラブニュースを見て、参加申し込みをしてください。

問合せ 生活クラブ本部 TEL 011(887)8891

<https://www.hokkaido-seikatsuclub.coop/>

省エネ学習会 断熱が日本を救う

日時 10月11日(土) 10:00 ~ 12:00

場所 生活クラブ本部 A会議室

内容 エコハウスに暮らす日本で唯一の断熱ジャーナリスト 高橋真樹さんによるオンライン講座。自宅からのオンライン参加もできます。

ニュース

9月3週

主催 サステナブル委員会

申し込みはこちら



トークイベント 再エネを広げよう

日時 10月12日(日) 10:00 ~ 12:00

場所 街中スペース COVO (コヴォ)

(札幌市中央区南1西7大通公園ウエストビル3階)

内容 自然と人が共生するソーラーシェアリングを題材とした映画『陽なたのファーマーズ』の監督 小原浩靖さんと語り合います。

ニュース

9月3週

主催 サステナブル委員会 / 文化委員会

年末大掃除企画！石けんカフェ

日時 10月22日(水) 10:00 ~ 12:00

場所 札幌エルプラザ2階 食材研究室

(札幌市北区北8西3)

内容 委員会の活動報告のほか、汚れや素材に合わせたお掃除のコツを伝えます。おしゃべりタイムで石けんについて語り合しましょう♪ 託児あり。

ニュース

9月3週

主催 石けん運動委員会



とうとうこの日がきて

北支部 河野 節子

私は76歳。自転車で健康商品を配達する仕事をしています。ヘルメットを被ると俄然パワーが出ます。しかし水仙が咲く頃、私をよく知る方に「もう高齢者だから、そろそろ乗れないよ」と言われ…びっくりです。重い、遠いし、どうしよう！？でしたが納得。車の運転と同じです。

子どもの頃は、大人用の自転車に三角乗りして2〜3キロ先の分校まで砂利道を走ったり、徒競走に出たりしました。高校生になっても徒歩25分ほどの駅まで毎朝、田畑の景色が変わるなかに猛スピードで走りました。駅から乗るはずの蒸気機関車D51が遠くの森から姿を現し、陸橋を渡ってきます。あつという間に防風林に隠れるD51。煙と騒音が近づくのに負けじと走ってラストスパートで町に入り、ギリギリサーフ5時55分。

もう自転車は卒業しますが、90歳まで健脚で働くことを想い描いて、これからはキャリアを使って配達、新たな日々です。

組合員のエッセイを募集します。4000字程度。テーマの指定はありません。本部川瀬まで、ファックスか業務で送ってください。



道産 道産間伐材を配合した紙を使用しています